

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者	
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学援助論Ⅰ 生活行動に障害のある患者の看護	1	30	2学年前期	半田 直子 平田 優樹 戸梶 里奈	
授業目標	1. 生活行動に障害のある患者の特徴、看護の役割が理解できる。 2. 慢性期において医療を必要とする患者の基本的な看護援助方法が理解できる。 3. 各機能障害にある患者を総合的に理解し、予測される問題や解決のための基本的な看護援助方法が理解できる。						
授 業 計 画						担当	備考
1	生活行動に障害のある患者の特徴、看護の役割について					半田	講義
2	慢性の脳・神経機能障害のある患者の看護 ①高次機能障害 ②運動機能障害 ③感覚機能障害						
3	慢性の脳・神経機能障害のある患者の看護 ①脳梗塞後遺症患者の看護 ②脊髄損傷患者の看護						
4	呼吸機能障害のある患者の看護 症状 ①呼吸困難 ②チアノーゼ						
5	呼吸機能障害のある患者の看護 疾患 ①肺がん ②気胸						
6	循環機能障害のある患者の看護 ①心不全患者の看護					平田	
7	循環機能障害のある患者の看護 ②狭心症・心筋梗塞患者の看護						
8	循環機能障害のある患者の看護 ①教育支援						
9	1)事例展開をもとに生活指導						
10	栄養代謝能障害のある患者の看護 【肝硬変事例展開】					戸梶	
11	栄養代謝能障害のある患者の看護 ①肝炎患者の看護②肝硬変患者の看護						
12	栄養代謝能障害のある患者の看護 ③肝臓がん患者の看護						
13	栄養代謝能障害のある患者の看護 ④膵炎患者の看護						
14	消化吸収機能障害のある患者の看護 ①潰瘍性大腸炎患者の看護②クローン病患者の看護						
15	終講試験 まとめ						
評価方法	終講試験 85% 小テスト 15%						
テキスト	・成人看護学 慢性期看護論 第3版 編集：鈴木志津枝、藤田佐和 スーパルヒロカワ ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 著：竹村信彦 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 著：吉田俊子 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 著：松田明子 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 著：浅野浩一郎 医学書院						
参考図書	・看護過程に沿った対症看護 監修：高木永子 学研メディカル秀潤社 ・疾患別看護過程の展開 第4版 監修：山口瑞穂、関口恵子 学研						
履修上の 注意点	事前に各疾患の病態関連図を作成し授業に参加しましょう。						

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者	
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学援助論Ⅱ 周手術期にある患者の看護	1	30	2学年前期	湯浅 有加里	
授業目標	1. 手術侵襲による生体反応を理解できる。 2. 術前・術中・術後に応じた看護の役割を理解できる。 3. 主要な術後合併症の要因、患者への影響、予防的ケア・対処ケアを理解できる。 4. 手術後の自己管理に関する援助を理解できる。						
授 業 計 画						担当	備考
1	周手術期の考え方 周手術期看護の特徴 手術侵襲による生体反応 / 周手術期にある人への看護援助の特徴					湯浅	講義
2	周手術過程に応じた看護 術前の看護 / インフォームドコンセント 手術オリエンテーション 身体準備/手術室入室						
3	術中の看護 麻酔導入・手術体位の固定/看護師の役割/麻酔覚醒時の援助						
4	術後合併症予防の看護・術後の看護						
5	術直後のモニタリング / 術後回復促進ケア/退院に向けたケア術後合併症と予防のための看護技術						
7	術式による特徴的な手術看護 呼吸機能障害のある患者の看護 / 開胸術（肺） / 胸腔内ドレナージ管理						
8	循環機能障害のある患者の看護 / PCI(冠動脈)						
9	脳・神経機能障害のある患者の看護 / 脳室ドレナージ管理						
10	女性生殖器障害のある患者の看護/乳房切除術						
11	消化・吸収機能障害のある患者の看護 / 開腹術（大腸）/ストーマ造設						
12	消化・吸収機能障害のある患者の看護 / 開腹術（胃）						
13	看護過程の展開① 胃切除を受けた患者の看護事例 事例紹介（DVD）/アセスメント/関連図						演習
14	看護過程の展開② 胃切除を受けた患者の看護事例 看護問題抽出/看護計画・評価						演習
15	終講試験 まとめ						
評価方法	終講試験 80% レポート 20%						
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・周手術期看護論 編：雄西智恵美，秋元典子 スーヴェルヒロカワ ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 著：川村雅文 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 著：吉田俊子 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 著：松田明子 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 著：吉岡成人 医学書院 						
参考図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学①成人看護学総論 医学書院						
履修上の 注意点							

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者	
専門分野Ⅱ	老年看護学	老年看護学援助論Ⅰ 老年期の日常生活援助	1	30	2学年前期	高崎 栄子 井上 順子	
授業目標	1. 高齢者の特性をふまえた援助方法を理解する。 2. 高齢者の生活機能を整えるために必要な看護について理解する。						
授 業 計 画						担当	備考
1	高齢者によくみられる身体症状とアセスメント	1	①発熱 ②痛み ③掻痒 ④脱水	高崎			講義
2	高齢者によくみられる身体症状とアセスメント	2	①嘔吐 ②浮腫 ③倦怠感 ④褥瘡・スキン-ケア				
3	日常生活を支える基本的活動	①基本動作と環境のアセスメントと看護					
4		②転倒のアセスメントと看護					
5		③廃用症候群のアセスメントと看護					
6	食事・食生活	①食生活に着目する意義					
7		②高齢者に特徴的な変調 ③摂食・嚥下機能のアセスメントと看護 ④食事に対する看護					
8		排泄	①排泄ケアの基本姿勢 ②排泄障害のアセスメントと看護				
9							
10	清潔	①清潔の意義 ②高齢者に特徴的な変調 ③清潔のアセスメントと看護					
11	高齢者と生活リズム 高齢者とコミュニケーション	①高齢者に特徴的な変調 ②生活リズムのアセスメント ①高齢者とのコミュニケーションの特徴とかかわり方 ②高齢者におこりやすいコミュニケーション障害 ③コミュニケーション障害のアセスメントと看護		井上			講義
12	高齢者の死にかかわる権利の擁護	①終末期の捉え方 ②アドバンスディレクティブ ③リビングウィル					
13	高齢者の終末期における看護	①家族の参加と支援 ②チーム支援の意義と役割					
14	終末期看護の実践	①介護する家族の生活と健康 ②介護する家族への看護					
15	終講試験	まとめ					
評価方法	授業内で適宜実施する小テスト（10%）、終講試験（90%）で総合評価する						
テキスト	・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 著：北川公子 他 医学書院 ・生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図 編：山田律子、荻野悦子、井出訓 医学書院						
参考図書	・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 著：佐々木英忠 他 医学書院 ・根拠と事故防止からみた 老年看護技術 編：亀井智子 医学書院						
履修上の 注意点							

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者		
専門分野Ⅱ	小児看護学	小児看護学援助論Ⅲ 疾患・障害を持つ小児と家族の 援助技術（看護過程）	1	15	2学年後期	半田 直子		
授業目標	1. 子どもが検査・処置を安全安楽に受けるための援助技術を養う。 2. 事例をもとに健康障害を持つ子どもの看護過程を展開する基礎能力を養う。							
授 業 計 画						担当	備考	
1	1. 小児の成長・発達をとらえた看護過程の考え方 2. 看護過程の展開(個人ワーク) ①事例をもとに情報の整理						半田	
2	2. 看護過程の展開(個人ワーク) ②子どもの発達を捉えた情報の分析							
3	2. 看護過程の展開(個人ワーク) ③関連図、問題リストの作成							
4	2. 看護過程の展開(個人ワーク) ③看護計画を立案							
5	3. 検査や処置を受ける子どもと家族への看護（GW） プレパレーション、ディストラクション ① プレパレーションとは ②プレパレーションの実際							
6	3. 検査や処置を受ける子どもと家族への看護（GW） ②プレパレーションの実際							
7	③プレパレーションの発表							
8	4. 手作り玩具の作成(実習時に使用できるネーム作成) 安全につけられるよう作成							
評価方法	レポート100%							
テキスト	・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論・小児臨床看護総論 著：奈良間美保 [ほか] 医学書院 ・ナーシング・グラフィカ 小児看護学①小児の発達と看護 編：中野 綾美 メディカ出版							
参考図書	・インターメディカ 写真でわかる小児看護技術アドバンス 監修：山元 恵子 ・ナーシング・グラフィカ 小児看護学②小児看護技術 編：中野 綾美 メディカ出版 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 著者：奈良間 美保他 医学書院							
履修上の注意	・レポート提出は期日を厳守してください。							

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者	
専門分野Ⅱ	精神看護学	精神看護学援助論Ⅲ 精神障害のある患者の援助 技術（看護過程他）	1	15	2 学年後期	平田 優樹	
授業目標	1. 精神看護におけるコミュニケーション技術を理解する。 2. プロセスレコードの再構成、考察する必要性を理解する。 3. 事例を用いてアセスメント・看護介入を理解する。						
授 業 計 画						担当	備考
1	精神科ケアの方法 コミュニケーション技法 ロールプレイングによる看護場面の考察					平田	講義
2	プロセスレコードの再構成と考察 患者の反応・言動の分析						講義
3	統合失調症の患者：看護過程の展開 ①患者シート ②S データ・O データ ③アセスメント ④関連図 ⑤看護問題・看護目標 ⑥看護計画 ⑦実施・評価						演習
4							
5							
6							
7							
8	看護過程の展開 レポートまとめ						
評価方法	レポート 100%						
テキスト	・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学② 精神看護の展開 著：武井麻子〔ほか〕 医学書院						
参考図書	・精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 第6版 著：川野雅資編集 スーヴェルヒロカワ ・精神看護学 第2版 学生－患者のストーリーで綴る実習展開 著：田中美恵子編集 医歯薬 出版株式会社						
履修上の 注意点	講義資料は授業ごとに配布 PC・プロジェクターの準備						

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者	
統合分野	在宅看護論	在宅看護概論 看護の対象と目的	1	30	2 学年前期	多田由美子 井上 順子	
授業目標	1. 日本の在宅看護の変遷とその社会的背景について説明できる。 2. 在宅看護の目的と基本理念、関連する概念について理解できる。 3. 在宅看護の対象者の特性とその支援の基本を理解できる。 4. 在宅ケアを支える制度や社会資源を説明できる。 5. 在宅ケアにおけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を理解できる。						
授 業 計 画						担当	備考
1	在宅看護の目的と特徴 ①在宅看護とは ②在宅看護の提供の場 ③在宅看護における看護師の役割 ④地域包括ケアシステムにおける多職種連携と看護					多田	
2	在宅看護の歴史と現状 ① 日本の在宅看護の変遷 ②在宅看護の社会的背景 ③諸外国における在宅看護						
3	対象の特徴 ①年齢・発達段階 ②疾患 ③障害						
4	④在宅療養状態別 ⑤ターミナルケア						
5							
6	在宅看護の対象者としての家族 ①システム理論を用いた家族の捉え方 ②家族のアセスメント					井上	
7							
8	在宅看護の提供方法 ①外来看護 ②訪問看護 ③施設での看護 ④通所サービスでの看護						
9	療養の場の移行 ①退院支援・退院調整 ②入退院時における医療機関との連携 ② 入退所時における施設との連携						
10	在宅看護介入時期別の特徴 ①在宅療養準備期 ②在宅療養移行期 ③在宅療養安定期 ④急性増悪期 ⑤終末期 ⑥在宅療養終了期						
11							
12	在宅看護における看護師の倫理 ①初回訪問 ②訪問看護師のコミュニケーションとマナー						
13	演習：ロールプレイ						
14	事例「訪問看護師による初回訪問」						
15	終講試験 まとめ						
評価方法	終講試験 90% 演習 10%						
テキスト	・系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 著：河原加代子 他 医学書院						
参考図書	・ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア (第6版)、臺有桂・石田千絵・山下留理子 編、株式会社メディカ出版						
履修上の 注意点							

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者	
統合分野	在宅看護論	在宅看護援助論 I 在宅療養者に関連する制度と展開	1	15	2 学年前期	井上 順子	
授業目標	1. 在宅療養者を支える法律と制度を理解する。 2. 在宅ケアシステムにおける看護の役割を理解する。						
授 業 計 画						担当	備考
1	在宅ケアを支える制度					井上	講義
2	①介護保険制度 ②医療保険制度 ③障害者総合支援法 ④難病法						
3	⑤医療介護総合確保推進法 ⑥医療法 ⑦その他の主な公費負担医療						
4	介護保険制度と訪問看護制度						
5	①訪問看護ステーションのしくみ ②訪問看護師の役割 ③医療保険制度と介護保険制度 ④居宅介護支援事業所のしくみ						
6	1. 療養上のリスクマネジメント						
7	2. 在宅看護における権利保障						
8	終講試験						
評価方法	終講試験 100%						
テキスト	・系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 著：河原加代子 他 医学書院						
参考図書	・在宅看護論 編：櫻井尚子, 渡部月子, 臺有桂 メディカ出版 ・在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして 改訂第2版 編：石垣和子, 上野まり 南江堂						
履修上の注意	・社会保障で習得した制度の復習をしっかりとっておいて下さい。						

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者
統合分野	看護の統合と実践	看護管理	1	30	3 学年前期	川島保子 井上順子 多田由美子 平田優樹 橋本三智子
授業目標	1. チーム医療及び他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解し、看護をマネジメントする基礎的能力を身に着ける事が出来る。					
授 業 計 画						担当
1	1. 看護とマネジメント 1) 看護管理学とは 2) 看護におけるマネジメント					平田
2	2. 看護ケアのマネジメント					橋本
3	1) 看護ケアマネジメントと看護職の機能 2) 患者の権利の尊重					
4	3) 安全管理 4) チーム医療 5) 看護業務の実践					
5	3. 看護職のキャリアマネジメント					多田
6	1) キャリアとキャリア形成 2) 看護職のキャリア形成					
7	3) 看護専門職としての成長 (社会化) 4) タイムマネジメント 5) ストレスマネジメント					
8	4. 看護サービスマネジメント					川島
9	1) 看護サービスのマネジメント 2) 組織目的達成のマネジメント					
10	3) 看護サービス提供のしくみづくり 4) 人材のマネジメント					
11	5) 施設・設備環境のマネジメント 6) 物品のマネジメント 7) 情報のマネジメント					
12	5. マネジメントに必要な知識と技術					川島
13	1) マネジメントとは 2) 組織とマネジメント					
14	3) リーダーシップとマネジメント 4) 組織の調整					井上
15	6. 看護を取り巻く諸制度					
16	1) 看護の定義 2) 看護職 3) 医療制度 4) 看護政策と制度					
17	終講試験 まとめ					
評価方法	終講試験 100%					
テキスト	・系統看護学講座 看護の統合と実践 看護管理 医学書院					
参考図書	・新体系 看護学全書 統合分野 看護の統合と実践 看護実践マネジメント/医療安全 編集：小澤かおり 第4版 メヂカルフレンド社, ・看護六法 新日本法規,					
履修上の 注意点	グループワークや確認テストなどを取り入れ実施					

領域	区分	授業科目名	単位	時間数	時期	科目担当者	
統合分野	看護の統合と実践	災害・国際看護学	1	30	3 学年前期	内門 弘子 湯浅 有加里 畑島由美子	
授業目標	1. 災害時に看護が果たす役割、災害各期における看護支援活動を理解する。 2. 災害を理解し、災害看護活動に必要な基礎的知識を学ぶ。 3. 国際社会において、グローバルな視点に基づき国際的な看護・保健上の問題を理解する。 4. 諸外国の看護を理解し、看護の国際協力における組織・仕組みについて理解する。						
授 業 計 画						担当	備考
1 2	I. 災害看護 1. 災害の概要		1) 災害看護の歴史 2) 災害医療の基礎知識 ・災害の定義、分類、原因 ・災害と情報 ・トリアージ 3) 災害看護と法律		湯浅	講義	
3 4	2. 災害看護		1) 災害看護の定義 2) 災害サイクルに応じた看護 ①急性期・亜急性期 ・避難所における看護師の役割 ・災害と感染制御 ②慢性期・復興期 ・仮設住宅における生活支援と看護の役割 ・被災者の生活に必要なリハビリテーション ③静穏期 ・災害時の自助と共助 ・災害時への備え 3) 被災者特性に応じた看護 ①子ども ②妊産婦 ③高齢者 ④障害者 ⑤精神障害者 ⑥慢性疾患患者 ⑦在日外国人 4) こころのケア		畑島		
5 6	3. 災害看護の展開 1) グループワーク：災害各期における看護をまとめ、発表				畑島		演習
7	4. 災害看護の実際				湯浅	講義	
8 9 10 11 12 13	II. 国際看護 1. 国際看護学の定義 2. グローバルヘルス ・世界の健康問題の現状 3. 国際協力のしくみと関連する法律・国連機関、政府機関、国際NGOなど 4. 文化を考慮した看護 ・EPA、FTA 5. 国際救援活動の基本理念 6. 国際看護活動の実際 7. 発展途上国と看護 8. 国際救助と看護				内門	講義	
14	国際看護まとめ						
15	終講試験 まとめ						
評価方法	終講試験（災害看護学 50%・国際看護学内門 50%） GW、レポートは評価対象である						
テキスト	・系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学 著：浦田喜久子(他)						
参考図書	・国際看護 言葉・文化を越えた看護の本質を体現する 学研 編：一戸真子						
履修上の 注意点	グループワークの資料は各自、グループで準備する。発表は、PPTや掲示物など工夫する。						